

まち・ひと・しごと創生に関する意見交換会（まち創生部会）の開催にあたって

平成 27 年 7 月 23 日

木更津市長 渡辺 芳邦

「まち・ひと・しごと創生法」（平成 26 年 11 月制定）において、「人口減少に歯止めをかける」と初めて法律で明言したように、国は、人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、これまでにない危機感をもって、取り組みを進めております。

本市においても、「木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の今年度中の策定に向け、取り組みを進めており、本意見交換会は、この総合戦略の策定にあたり、各分野において、日々活躍されていらっしゃる皆様の現場の視点から見た、地方創生に向けた課題や今後の取組みの方向性などについて、広く意見をお聴きし、地域一体となって効果的に推進するため「まち」、「ひと」、「しごと」の 3 つの部会を開催するものでございます。

さて、市は、「魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち～」を目指しておりますが、この度の地方創生の理念として「個性豊かで魅力ある地域社会の創造」が掲げられており、本市では、「木更津自立都市圏」の確立を目指し、市政運営を進めております。

具体的に申しますと、優れた交通機能や居住機能を有し、商業、教育、文化等の都市機能がバランス良く展開する一方、東京に近接しながら、豊かな自然環境や里海・里山と「共生」することができる本市が有する多様性、地域資源を活かし域内で「循環」させ、経済的にも文化的にも「自立」した持続可能な都市を目指してまいります。

そして、今般の地方創生は、地域の個性を核に自立を目指すものであり、本市のまちづくりの方向にも相応しいものと考えております。

このため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、本市の有する多様な個性の中から、「オーガニック」の理念をキーワードに、人と自然が調和した持続可能なまちづくりを目指すとともに、首都圏の中で「癒し」や「潤い」を与えることのできる貴重なまちとしての価値を高めながら、PR してまいりたいと考えております。

また、本年３月に策定した今後４か年の市政運営の指針となる基本計画「きさらづ未来 活力創造プラン」において、「市民と創る持続可能なまち」を、重点テーマに掲げておりますように、本市の将来における人口減少を見据えた中で、これからの時代にあったまちづくりも、大きなテーマに掲げてまいりたいと考えております。

本日は「まち」創生部会として、木更津に住んでよかった、又は住んでみたいと思える「まち」づくりをテーマに、各担当課長の同席のもと、ご意見を頂戴するものでございますが、委員の皆様におかれましては、現場において活動されている見識から、是非、忌たんのない ご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。